

4 社会環境の整備

(1) 健康を支え、守る環境の整備

一人ひとりの健康は、個人を取り巻く社会経済環境の影響を受けることから、健康に関心を持ち、健康づくりに取り組みやすいように、健康を支える環境を整備する必要があります。また、時間的・精神的にゆとりがなく、健康づくりに取り組むことができない人や、健康づくりに関心のない人なども含めて、社会全体が相互に支え合いながら健康を守り、健康格差*を縮小することが必要です。

現 状

- 最近1年間で地域活動へ参加したことがある人の割合は男女ともに増加していますが、20歳代は参加したことがない人は8割を超えています。(図1)
- 健康のことで心配がある時、相談できる人がいる割合は男女ともに減少しています。女性に比べ、男性の割合が低くなっています。
- 相談する相手としては、男性は「配偶者」、女性は「親・兄弟姉妹・親戚」が最も高く、全体としては家族・親戚の割合が6割を超えています。また、「友人・知人」と答えた割合は女性が男性のおよそ3倍となっています。(図2)
- 働き盛り世代の健康づくりについて、企業に健康に関する情報提供などを行っています。
- 多くのボランティアなどのNPO活動の登録数を示す、市民活動プラザ登録件数は増加しています。
- 健康づくり事業に参加する人は増加しています。

課 題

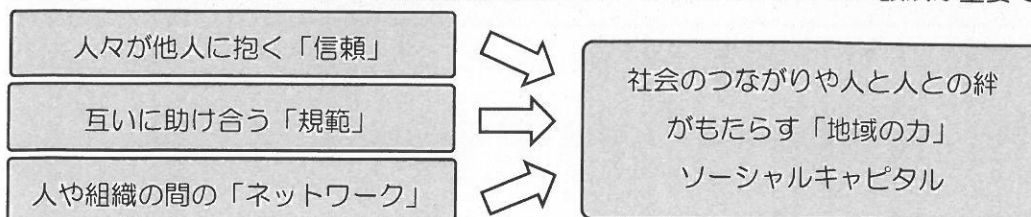
- 健康のことで日常的に相談できる相手について家族以外にも広げていく必要があります。
- 健康づくりに取り組むことが難しい、または関心のない人も健康づくりに取り組めるように、ソーシャルキャピタルを活かしながら、健康を支える環境づくりが必要です。
- 地域での健康づくり活動が活発となるように各団体(地域)の特性を踏まえ、意識の向上、企画力・運営力を強化していく必要があります。
- 働き盛り世代の健康づくりを支援するため、行政(地域保健)と企業(職域保健)との連携、協働、支援を拡充する必要があります。

けんくんの
健康豆知識



ソーシャルキャピタルについて

人々の協調的行動を活発にすることにより社会の効率性を高めることができる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴のことをいいます。ソーシャルキャピタルが高い地域ほど健康度も高いと言われており、コミュニティづくりや職域などにおけるソーシャルキャピタルの醸成が重要です。



取組み方針

○一人ひとりが主体的に社会参加しながら、支え合い、地域や人とのつながりを深め、自ら健康づくりに取り組むことができる環境を整備します。

目 標

①地域活動への参加割合の増加

目標項目		基準値	現状	目標
		平成 23 年度	平成 28 年度	平成 34 年度
地域活動への参加割合	男性	31.5%	33.4%	42%
	女性	31.7%	38.4%	42%
	全体	31.7%	36.1%	42%

資料：健康づくりに関するアンケート

②健康のことで心配がある時、相談できる人のいる割合の増加

目標項目		基準値	現状	目標
		平成 23 年度	平成 28 年度	平成 34 年度
相談できる人がいる割合	男性	64.3%	60.3%	69%
	女性	80.9%	76.2%	85%
	全体	73.6%	69.0%	77%

資料：健康づくりに関するアンケート

③市民活動プラザ登録件数(ボランティアなど)の増加

目標項目	基準値	現状	目標
	平成 23 年度	平成 28 年度	平成 34 年度
市民活動プラザ登録件数	372 件	429 件	500 件

資料：市民協働推進課

④健康づくり事業への参加者数の増加

目標項目	基準値	現状	目標
	平成 23 年度	平成 28 年度	平成 34 年度
健康づくり事業への参加者数	7,151 人	10,470 人	15,000 人

資料：健康増進課、こども保健課

取 組 み

◎新規で特に重点的な取組み

《個人・家庭》

- 健康のまちづくり事業*など地域活動に参加し、地域でのつながりを深めましょう。
- ◎一人ひとりが周囲の人の健康を支えていることを意識しましょう。

《地域》

- 地域のヘルスボランティア*などが、住民主体の地域での健康づくり活動を実施します。
- さまざまな地域活動を実施し、住民の参加を促して地域の連帯感を高めます。
- ◎誰もが集うことのできる居場所づくりや、助け合いの活動を実施します。
- ◎生涯スポーツや福祉、ボランティアや防災の活動など、様々な地域活動において健康づくりの視点を取り入れます。
- ◎地域の医療機関や薬局が主体となって、日常生活の健康相談や健康に関する情報を提供するなどのサポートを行います。

《団体(学校・企業)》

- ◎働く人の健康づくりを進めるとともにメンタルヘルス対策などを充実し、健康経営に努めます。
- ◎ワーク・ライフ・バランス*を推進し、働く人が健康でいられるよう支援します。
- ◎市民の健康に付与するヘルスケア産業*が生まれ育つ環境づくりを進めます。

《行政》

- ◎市民協創・福祉・産業・建設・都市計画・教育など、健康を取り巻く関係部局と相互に連携を図りながら、歩くことなどを中心に、自然に健幸*になれる環境づくりを行います。
- 地域で健康を広めるヘルスボランティアなどを養成し、地域と連携した健康づくり活動を実施します。
- ◎生涯スポーツや福祉、ボランティアや防災の活動など、様々な地域活動において健康づくりの視点を持てるように支援します。
- 地域の特性をふまえた健康づくり活動を推進し、市民が自ら健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。
- 働き盛り世代の健康づくりが問題となっており、企業と情報の共有や健康づくりに取り組みます。
- 食生活改善推進員*を養成するとともに、食に関する活動を支援します。
- ◎健康マイレージなどを通じ、日常的に健康を意識できるまちづくりを行います。
- ◎自転車の利用を促進する環境の整備を行います。

健康経営について

従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することです。従業員の活力や生産性の向上などをもたらし、組織の業績や価値向上、さらには医療費削減へもつながることが期待されます。

けんとかんの
健康豆知識



図1 地域活動への参加状況(最近1年間)

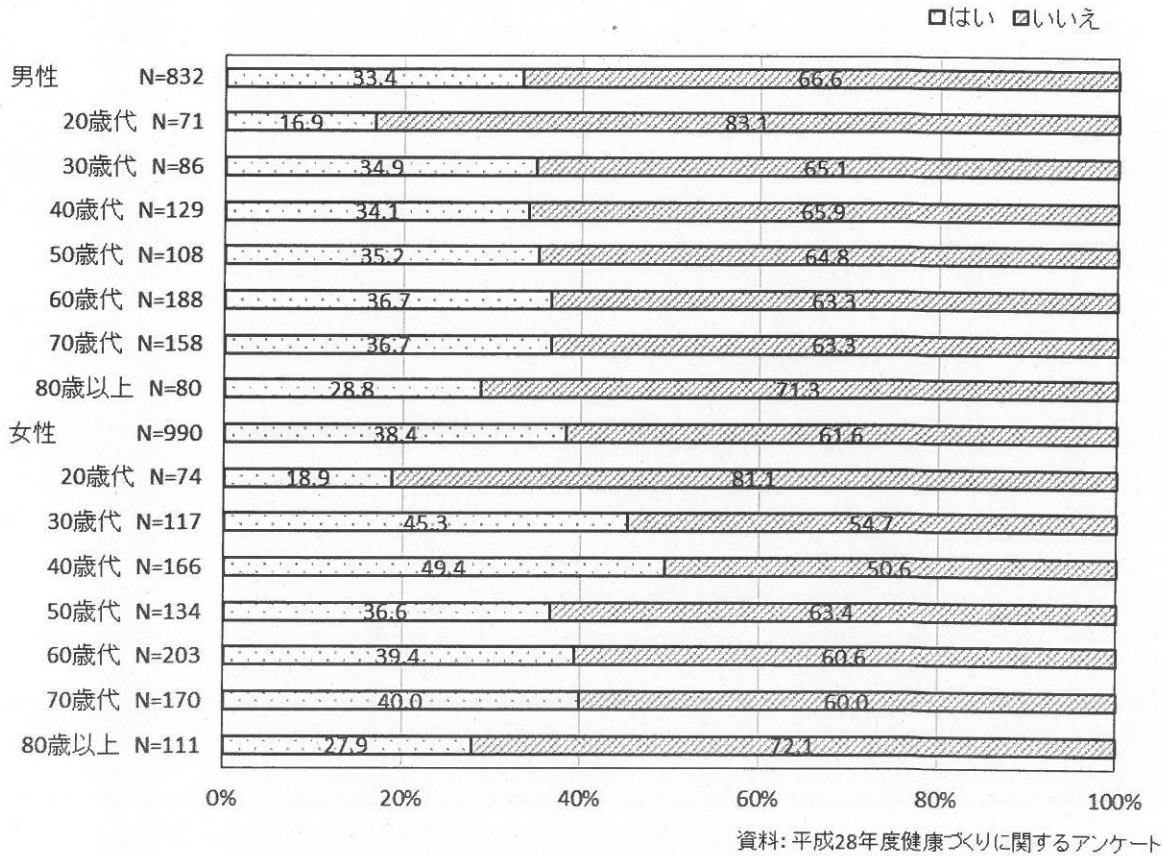


図2 誰に相談するか

